

治療栄養学実験

治療栄養学実験

6単位 (選択) 1年 (通年), 2年 (通年)

武田 英二(授業責任者)・教授/人間栄養科学専攻, 竹谷 豊・准教授/人間栄養科学専攻

【授業目的】 実験や調査による研究を行い、解析方法や発表方法を習得する。

【授業概要】 研究課題に対する実験方法や調査方法を学び、研究を実施する。結果を解析して発表する。これらにより研究を組み立て、学会発表や論文発表する能力を養成する。

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 研究課題の背景、意義、対象と方法、予想される結果、等をまとめて発表させる。
2. 実験や調査を行い、問題点や進捗状況を発表させる。
3. 結果を解析して発表させる。
4. 研究結果全体を組み立て、発表させる。
5. 論文作成を指導する。

【成績評価】 研究実施や発表に関する態度や能力で判定する。

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217653>

【連絡先】

⇒ 武田英二

⇒ 竹谷豊

治療栄養学実験

6 units (selection) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Eiji Takeda(Manager)・PROFESSOR / 人間栄養科学専攻, Yutaka Taketani・ASSOCIATE PROFESSOR / 人間栄養科学専攻

Target 実験や調査による研究を行い、解析方法や発表方法を習得する。

Outline 研究課題に対する実験方法や調査方法を学び、研究を実施する。結果を解析して発表する。これらにより研究を組み立て、学会発表や論文発表する能力を養成する。

Manner [授業方法]

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Goal [目標]

Schedule

1. 研究課題の背景、意義、対象と方法、予想される結果、等をまとめて発表させる。
2. 実験や調査を行い、問題点や進捗状況を発表させる。
3. 結果を解析して発表させる。
4. 研究結果全体を組み立て、発表させる。
5. 論文作成を指導する。

Evaluation Criteria 研究実施や発表に関する態度や能力で判定する。

Textbook [教科書]

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217653>

Contact

- ⇒ 武田英二
- ⇒ 竹谷豊